

令和 2 年度

事業実績報告書



社会福祉法人 昭和村

昭和村の理念

安全、安心　そして心豊かな生活
自由、自立　そして役割のある生活
共助、共生　そして地域と共にある生活

基本方針

- ◎ 安全、安心の生活を実現するために、施設・設備等の維持管理や点検整備等に努めると共に、行事や趣味活動などを通して心豊かな生活を提供します。
- ◎ 利用者の人権を尊重し、自由で自立した生活の実現を目指します。
身体拘束は行いません。また職員の資質の向上を図り、よりよいサービスを目指し、利用者一人ひとりがその人らしい役割のある生活を提供します。
- ◎ 地域から信頼される施設経営に努めると共に、地域との交流を図り、共に助け合い励まし合って、地域の一員として生活出来るように支援します。
- ◎ 利用者の権利を遵守します。
利用者の日常生活やケアプラン、ケアの内容などについて、正確でわかりやすい説明をします。
利用者のプライバシー（個人情報）は、保護します。

社会福祉法人 昭和村

令和2年度 社会福祉法人昭和村 事業実績報告書

【目次】

I	社会福祉法人 昭和村 本部 事業実績報告書P1
II	軽費老人ホーム 湊泉荘 事業実績報告書 P11
III	特別養護老人ホーム 市原園 事業実績報告書P19
IV	市原園デイサービスセンター 事業実績報告書 P27
V	市原園在宅介護支援センター 事業実績報告書 P33
VI	市原園居宅介護支援事業所 事業実績報告書 P37
VII	昭和村売電事業 事業実績報告書 P41

I 社会福祉法人 昭和村 本部 事業実績報告書

1 施設の運営について

社会福祉法人昭和村は、地域と共に生活するという理念に基づき、適正に施設を運営し、地域の福祉施設となるように努力致しました。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染予防の為に、職員は施設内の掃除、消毒、また職員間の密な交流も出来るだけ避けてきた一年でした。また、利用者の皆さんにもリモート面会や行事の自粛、また外出の制限など多大なご迷惑をおかけしてしまいました。職員のPCR検査も3月に国の負担で一回実施することができました。

市原園デイサービスルームを月に一度開放した加茂地区社会福祉協議会主催の「ふれあい・いきいきサロン」も新型コロナウイルス感染予防の為利用されませんでした。

通所介護、訪問介護、ケアプランの作成などは、地域から高い評価を得ております。

今後とも、新型コロナウイルスの感染予防に最大限の予防をしつつ、各施設、事業所の適正な運営管理と入居者、利用者の意思を尊重し、サービスの向上を図り、地域との交流などに努め地域の福祉の拠点となるよう積極的に努めます。

(1) 軽費老人ホーム 溪泉荘

入居者の要望や身体状況を把握し、生きがい対策など入居者の日常生活の支援を行いました。

特に、入居者の半数以上の方が要支援・要介護状態となっている現状から、本人、家族、介護支援専門員との話し合いのもと、効果的に介護保険サービスを利用しました。

新型コロナウイルスの感染予防の為にサークル活動や外出行事は、ほとんど休止致しました。又、誕生会も今まで通りの食事を兼ねるスタイルから式典のみを行う方式に変更致しました。

健康管理や感染症予防の為に、入居者の手洗い指導、施設内の清掃作業など、全職員一丸となって取り組みました。



(2) 特別養護老人ホーム 市原園

「全室個室・ユニットケア」の特徴を活かし、入居者のプライバシーに配慮したケアに努め、認知症の方への精神的安定や自立した生活が出来るように、入居者の介護に努めました。

特に各ユニットでは、入居者の日常生活の支援に重点を置いた施設サービス計画を作成し、可能な限り一人ひとりと

向き合い、残存機能の維持向上を図りつつ、その人らしい生活をサポートしました。



(3)市原園デイサービスセンター

通所介護は、利用者の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るように支援しました。

又、独居や高齢者のみの世帯の利用者も多い事から、新型コロナウイルスの感染予防に最大限の注意を払いながら、外出ドライブや出前食の企画、クッキング教室、園芸教室を実施いたしました。



(4)市原園在宅介護支援センター

訪問介護は、11名の訪問介護員が居宅を訪問して、入浴、排泄、食事等の身体介護、家事、炊事等の日常生活上の介護を行いました。

活動場所は、加茂・南総地区をはじめ、大多喜町、君津市となっています。



(5)市原園居宅介護支援事業所

利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事が出来る様に、総合的な相談に積極的に応じました。

経験豊富なケアマネ4名が、一人一人に合ったケアプランを丁寧に作成しました。ケアプラン作成件数は、月平均178件でした。



2 事業実施状況

今年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、予定していた行事はほとんどできませんでした。

4/ 1	辞令交付(人事異動、定期昇給)
7	緊急事態宣言発令(勤務体制等変更)
14	施設長・管理者会議
5/12	施設長管理者会議
28	配水管高圧洗浄(タイガー総業)市原園ユニット、厨房等
29	県道缶ひろい
6/ 5	監事監査
9	第210回理事会(書面決議)
10	加給水ポンプ交換工事 防災設備点検
15	害虫駆除
16	エアコン室外機点検
18	草刈り
23	第151回評議員会(書面議決)
6/ 24	エレベーター点検

7/ 8 22	井戸ろ過砂交換 施設長管理者会議 ゴミブリ駆除(環境コントロール)
8/11 19	施設長・管理者会議 井戸修理 エレベーター点検
9/1～3 8 9 11 17	健康診断 第211回理事会(書面議決) エレベーター点検 防災訓練(夜間対応) 自動ドア点検
10/ 13 19 26	施設長・管理者会議 ゴミ拾い エレベーター点検
11/ 7 10 18 25	インフルエンザ予防接種 施設長・管理者会議 エレベーター点検 エレベーター点検・カメラ取替
12/ 4 8 9 15 17 21 28	屋上雨漏り工事 ハラスメント研修 施設長・管理者会議 夜間通用口手洗い場工事 消防設備点検(放水訓練・職員緊急連絡訓練) 加茂地区社会福祉法人合同研修会 パルスメーター工事 厨房床掃除・害虫駆除 第212回理事会
3/17 19 24 26 29	受水槽掃除 不在者投票(千葉県知事選挙) 職員PCR検査 理事長説明 第213回理事会 防災訓練(夜間対応)

3 理事会の開催状況

第210回 令和2年6月9日 (新型コロナウイルス感染予防の為 書面議決)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業実績報告について ・令和元年度計算書類及び財産目録の承認について (令和元年度監事監査の結果について) ・評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について ・令和2年3月から4月の活動状況の報告
---	--

7 専門委員会について

令和2年度は、再編成した4つの専門委員会に全職員が所属し、自分達の施設を自分達で良くして行こうと一年間独自の活動に取り組みました。

新型コロナウイルス感染予防の為、各施設間の職員の交流は最小限度といたしました。その為、委員会としての活動を行う事ができませんでした

(1) サービス向上・身体拘束廃止委員会

(事故防止・研修(ヒヤリハット事例分析含む)・虐待防止)

職員間のより良いコミュニケーションと資質向上のために顧問弁護士によるハラスメント講習を実施しました。

(2) 行事企画・広報・ボランティア委員会

春の演遊会、盆踊り、秋の縁友会、文化祭などは、新型コロナウイルスの感染予防の為すべて開催することができませんでした。

広報は、3回発行しご家族や地域の皆様に施設の状況をお知らせしました。その他にも新型コロナウイルス対応の現状をご家族の皆様にお伝えしご理解をいただきました。

(3) 感染症対策、健康管理・給食委員会

(喀痰吸引等の安全委員会含む)

9月に、全職員・入所者の健康診断を移動検診車で実施しました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大予防の為に適宜委員会を開催いたしました。委員会では、利用者間の感染予防の為に設備・職員の動線の確認、濃厚接触予防など様々な角度から協議し、職員又利用者に協力をいただきました。利用者の皆様には、二度の緊急事態宣言発令中、面会規制また外出制限とご迷惑をおかけしましたが、一名の感染者も出さずことなく過ごせました。また、手洗い・マスク装着の効果もあり、インフルエンザの発症者は、一人もおりませんでした。

(4) 環境・営繕・車両委員会

施設の電気、ガス、水道、空調、浄化槽、防災機器など、各種の機械や設備が良好な状態で使用出来るように、職員で出来る範囲のメンテナンスを行いました。

エレベーターや火災報知器、専用水道浄水装置、水道設備貯水槽の清掃、下水浄化槽の保守点検などの法定点検については、専門業者に連絡して法律を遵守するよう点検整備を実施しました。

環境美化の為に施設進入路入口付近や施設敷地内の草取り作業、清掃活動、花の植え付けなど全職員の協力を得て実施しました。

また、安全運転に対する自覚を喚起する為に乗車前の身体状況点検、車輛点検など実施しました。公用車の運転日誌の整備、定期点検を実施しました。

今年度も、(社)千葉県安全運転管理協会主催の「セーフティドライバーズちば2020」に1チーム10名が参加し、安全運転の呼び掛け運動などを定期的実施することで、安全運転への意識を高めることが出来ました。

8 合同防災訓練

【防災避難訓練の実施状況】

訓練日時	訓練内容	参加者
R2年9月11日 PM2:30~3:30	夜間を想定し、宿直者と夜勤者の初期対応の確認として、防災監視盤作動時の行動確認と通報訓練を実施した。 又、職員緊急連絡網の通報訓練も実施した。	入居者 0名 職員 20名
R2年12月9日 PM2:30~3:30	新型コロナウイルスの感染予防の為、火災や災害発生を想定した全体訓練は行わず、施設ごとに職員を対象に放水訓練と通報訓練を実施し、有事の際冷静に行動ができるようにした。	入居者 0名 職員 22名
R3年3月29日 PM2:30~3:30	新型コロナウイルスの感染予防の為、火災や災害発生を想定した全体訓練は行わず、施設ごとに職員を対象に防災設備の勉強会や有事の際冷静に行動ができるように勉強会を行った。	入居者 0名 職員 22名

9 設備等の修繕・工事の内容 (10万円以上の工事・各施設にて按分負担)

修繕・工事名	給水ポンプ修理工事
年月日	令和2年6月30日
業者名	辻本電機
内容	井戸給水ポンプ修理
金額(税込)	990,000
修繕・工事名	徐マンガン装置整備工事
年月日	令和2年8月31日
業者名	神鋼環境ソリューション
内容	井戸濾過材整備
金額(税込)	872,300円
修繕・工事名	屋上防水補修工事
年月日	令和3年1月29日
業者名	三星産業
内容	職員食堂屋上防水工事
金額(税込)	110,000円
修繕・工事名	夜間通用口手洗い場増設工事
年月日	令和3年1月29日
業者名	タイガー総業
内容	夜間通用口の手洗い場増設
金額(税込)	401,500円

修繕・工事名	非常用倉庫設置
年 月 日	令和3年3月30日
業 者 名	ひらつか工務店
内 容	災害時非常用倉庫設置
金 額(税込)	1,531,624円
修繕・工事名	市原園一階入り口わき物置設置(2台)
年 月 日	令和3年3月30日
業 者 名	ひらつか工務店
内 容	市原園ユニット用物置(2台)
金 額(税込)	1,359,446円

10 器具及び備品・固定資産の購入内容 (10万円以上の購入代金・各施設にて按分負担)

購入品名	洗米機
年 月 日	令和2年7月31日
業 者 名	タニコー
内 容	厨房洗米機
金 額(税込)	194,480円
購入品名	ポータブル発電機(2台)
年 月 日	令和2年10月30日
業 車 名	スワダ電器店
内 容	非常用発電機(2台)
金 額(税込)	325,600円

令和2年度

事業実績報告書



(お花見ドライブ：高滝神社にて)

令和3年3月29日

軽費老人ホーム 溪泉荘

Ⅱ 軽費老人ホーム 溪泉荘 事業実績報告書

1 施設の運営管理について

(1)はじめに

軽費老人ホーム溪泉荘は、令和2年度事業計画に基づき、施設の適正な運営管理に努めました。

- ・高齢社会に対応する施設として、サービスの向上に努め、入居者・職員の信頼関係の確立を図りました。
- ・入居者の自主性・積極性を尊重し、生きがいのある生活が送れるよう支援しました。
- ・防災意識の向上を図り、安全管理体制の強化に努めました。
- ・地域との交流を積極的に図り、施設が地域福祉の核となるよう努めました。
- ・新型コロナウイルスの感染予防に取り組みました。



(溪泉荘大食堂の様子)

新型コロナウイルスの感染予防対策は、下記のとおりです。

- ① 利用者及び職員の手洗い、うがい・マスク着用の徹底
- ② 利用者、職員の日2回の体温チェック
- ③ 利用者の外出制限（通院、買い物便の制限）
- ④ 利用者のヘルパー、デイの制限（必要最低限の利用）
- ⑤ 面会制限（状況を見て、禁止からPCそして、玄関での面会へ移行）
- ⑥ 食堂の間仕切りの設置
- ⑦ 食事の前に放送をし、居室から早く出て廊下で会話しない様喚起
- ⑧ 食堂に集まってのラジオ体操を中止し、各居室での体操の声掛け
- ⑨ 誕生会は、その月の誕生者のみ大ホールに集まり式典のみ実施
- ⑩ 緊急事態宣言中は、職員は2班編成の勤務とし、職員が交わらない
- ⑪ 毎日の手すり掃除。食事後は、間仕切りの掃除
- ⑫ 食堂へ空間除菌脱臭装置の設置（3台）
- ⑬ 面接は、居室等への立ち入りはせず、写真にて説明
- ⑭ 新規入所者は、一週間の自室待機

(2)職員配置の状況

軽費老人ホーム溪泉荘は、入居者の虚弱化・高齢化に対応する為、国の基準より多く職員を配置しました。又、調理業務は株式会社 西原屋に委託しました。

	施設長	生活相 談員	介護 員	主任 介護 職員	看護 員	栄養 士	事務 員	医師	その他	調理 員	合計
基準	1	1	4	1	1	1	2	必要な数		実情	11名
県単		1			1						2名
現員	1	2	4(3)	1	2	1	2	(1)		委託	13(4)名

()は非常勤 (令和3年4月1日現在)

(3) 防災訓練の状況

昭和村消防計画に基づき、防災避難訓練を通じて、建物や消防用設備等の点検に努めました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染予防の為、利用者の避難誘導訓練は、実施しませんでした。が、有事の際の職員の動きを再確認する訓練を実施しました。

夜間を想定した訓練は、火災防御・救急・救助技術の向上を図り、防火管理体制を強化しました。



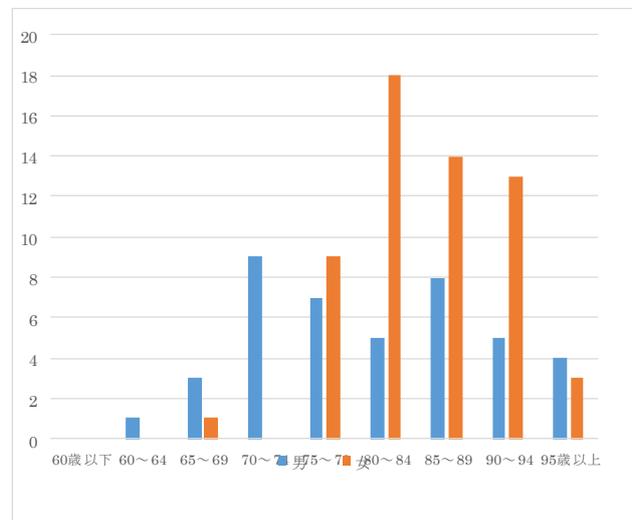
2 入居者処遇について

(1) 月別入退所者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
初日	100	100	98	100	100	100	
入居	0	0	2	2	0	2	
退居	0	2	0	2	0	2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	100	100	100	100	99	100	1,197名
	0	1	1	0	0	1	9名
	0	1	1	1	1	1	11名

(2) 年齢別入居者数(令和3年3月31日現在)

年齢区分	男	女	合計
60歳以下	0	0	0
60～64	1	0	1
65～69	3	1	4
70～74	9	0	9
75～79	7	9	16
80～84	5	18	23
85～89	8	14	22
90～94	5	13	18
95歳以上	4	3	7
合計	42	58	100名
平均	79.0	84.2	81.6歳



(3) 日常生活の状況(令和3年3月31日現在)

歩行	自立歩行		歩行補助器	車イス使用	歩行不能	昼間	便所	
	54名						自分で可能	93名
	39名						車イス使用	名
	7名						自分で可能	0名
	0名					ポータブル	介助	0名

食事	自分で可能	31名	排泄	夜間	おむつ、パット使用		37名
	一部介助、寮母配膳	69名			便所	自分で可能	93名
	全部	0名				車イス使用	7名
入浴	自分で可能	47名	ポータブル	自分で可能	0名		
	一部介助、ヘルパー	53名			介助	0名	
	全部	0名		おむつ、パット使用		37名	
着衣	自分で可能	67名	※おむつ、パット使用者でも自分で交換可能な方は、排泄自立にもカウントしている為合計が合いません。				
	一部介助全部介助	33名					
	全部	0名					

(4) 処遇方針について

入居者の身体状況を把握し、ニーズに合わせた支援を実施しました。

又、高齢化、虚弱化により個別的なサービスが必要となった入居者には、本人又は保証人と協議の上、介護保険サービスを効率的に利用しました。

サービスの利用に当たっては、残存機能の維持や認知症の予防に主眼を置き、介護支援専門員と密な連絡を取り、サービス開始後も適宜見直し、より良い生活が送れるよう支援しました。

又、渓泉荘の生活が困難になった入居者については、本人、保証人、主治医等との協議の上、最善の場を提供出来るようにしました。

(5) 教養娯楽について

今年度は、新型コロナウイルスの感染予防の為、多くの行事を実施することができませんでした。毎朝食堂で行われていたラジオ体操は、マンネリ化を防ぐためご当地版バージョンを流し、各自居室で行っていただきました。

4/17	誕生会(居室を周りプレゼント)	 
5/29	県道缶拾い	
6/19	4～6月誕生会式典	
7/17	誕生会式典	
22	ゴキブリ駆除	
8/21	誕生会式典	
9/ 2	健康診断	
11	防災訓練	
16	誕生会・敬老会(米寿、白寿祝)	
10/16	誕生会式典	
11/ 7	インフルエンザ予防接種	
15	誕生会	
16	入居者健康診断・	
18	お茶会(久留里エリー)	
28	紅葉狩り(亀山湖)	
12/ 9	防災訓練	

16	誕生会・イルミネーション見学 (月崎・飯給・里見駅、クオードの森)
20	クリスマスケーキプレゼント
22	イルミネーション見学 (月崎・飯給・里見駅、クオードの森)
1/15	誕生会(プレゼントのみ)
2/14	バレンタインディ
19	誕生会(プレゼントのみ)
3/14	ホワイトディ
17	千葉県知事選挙不在者投票
19	誕生会式典 (1月・2月)
23	誕生会式典 (3月)
29	防災訓練



(6) 食事について

食事の充実健康維持に欠かせず、生活の充実でもあるとして、入居者に喜ばれる食事作りをしました。

調理形態についても、入居者の身体状況を考慮し、普通食、キザミ食、超キザミ食を用意すると共に、減塩食などの治療食にも対応しました。

バイキング食も自分で取れない入居者が年々増加し、今では半分以上の入居者が何らかの介助が必要になりました。

新型コロナウイルスの感染予防の為、空気清浄機の設置、入居者のテーブルには間仕切り・湯飲み茶わんの変更また食事前の放送などできる限りの感染症対策を行いました。

又、一日(3食)食べなかった入居者に、食材料費相当分として1日800円を返金しました。



	朝 食	昼 食	夕 食
食事時間	7:30~8:30	12:00~13:00	17:30~18:30

(7) 入浴について

入浴日は週4日とし、入居者が快適に生活出来るようにしました。

又、介護保険を利用したヘルパー介助の個浴、リフト浴の利用者も年々増加し、最近では入所時からヘルパー入浴を利用する方もおりました。

区 分	入浴回数	入浴時間	ヘルパーによる入浴介助者	
一般浴槽	週 4 日	14:00~20:00	個浴 15名	リフト浴 5名

3 給食管理について

(1) 食事について

入所者の給食は、年齢、性別、生活活動強度により栄養所要量を決定し、栄養が確保できるようにしました。又、嗜好調査、残菜調査、食事後の聞き取り調査を通し、入居者の生の声を聞き、献立や味付けに反映させました。

入居者の身体状況に応じ、調理の形態を変えると共に、配膳の介助、代替食の用意などの便宜を図りました。今後も入所者に喜んで頂ける食事を提供できるようにします。

(2) 栄養所要量について(令和3年3月31日現在)

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂質 g	Ca mg	鉄 mg	レチノール当 μg	VitB1 mg	VitB2 mg	VitC mg
平均	1,510	62.6	44.9	750	7.5	900	1.2	1.3	100

(3) 令和2年度 栄養摂取量(1人1日当たり)

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂質 G	Ca mg	鉄 mg	レチノール当 μg	VitB1 mg	VitB2 mg	VitC mg
平均	1,667	66.9	45.8	827	10.6	793	0.81	1.01	84

(4) 調理形態別の食事の状況(令和3年3月31日現在)

主食	ご飯	64名	お粥	35名	ゼリー粥	1名		
副食	普通	72名	キザミ	21名	超キザミ	6名	ミキサー	1名

4 健康管理について

(1) 保健計画について

病気の早期発見、早期治療の為に、週2回職員が同行し、加茂診療所へ通院しました。

嘱託医による診療は、週1回医務室において実施しました。協力病院のポプラクリニックへもスムーズな通院、入院体制を確立しました。

又、認知症の予防、進行防止、残存機能の維持の為に、デイケア、デイサービスも積極的に利用しました。

感染症予防の為に、手洗い、うがい、マスクの着用には万全を期しました。退院時また入所時には数日間の居室対応をするなど、コロナウイルスが施設に入らない対策を取りました。

【デイサービス等の利用状況(R3.3.31現在)】 延べ回数

デイサービス	6ヶ所	55回
デイケア	2ヶ所	10回

(2) 入居者の健康診断について

年2回の健康診断が義務付けられており、1回目は市原健康クリニックの移動検診車で、胸部レントゲン検査、心電図検査、血液検査、診察など実施しました。

又、2回目の健康診断は、嘱託医の問診を施設内で実施しました。



(健康診断の様子)

(3) 職員の健康診断について

全職員の健康診断は、市原健康クリニックの移動検診車で実施しました。

更に希望者は、社会保険指定病院の生活習慣病予防検診を利用しました。



5 給食サービスの状況

毎年、加茂地区社会福祉協議会の主催する「ふれあい・いきいきサロン」の会場として利用して頂いておりましたが、新型コロナウイルスの感染予防の為、一度も開催されませんでした。

6 職員研修実績

(1) 内部研修

新型コロナウイルスの感染予防の為、多職種との職員の交流を最低限度といたしました。その為、全職員が一堂に会しての研修は、実施しませんでした。

日付	研修内容	講師	参加者職種	参加人数
R2. 9月30日	感染症発生に備えた事業継続計画について	東京海上日動 リスクコンサルティング(株)	理事長 施設長他	5名
R2. 12月4日	職場のハラスメントについて	顧問弁護士 建入 則久氏	施設長他	5名

(2) 外部研修

新型コロナウイルスの感染予防の為、千葉県、千葉県社会福祉協議会また市原市の研修はほとんどありませんでした。

日付	研修名	内容	参加者 職種人数
R2. 7月7日	高齢者施設管理者向け研修会	施設管理者向け研修	施設長 1名
R2. 11月16日	福祉サービスにおける苦情解決基本視点	福祉サービスにおける苦情解決の基本視点	生活相談員 1名
R2. 11月30日	福祉避難所開設・運営マニュアル作成研修会	大災害及び福祉避難所の状況 今後の福祉避難所の方向性	施設長 1名
R2. 12月15日	加茂地区社会福祉法人合同研修会	加茂地区社会福祉協議会	施設長 1名
R3. 2月18日	新型コロナウイルス接種説明会(ZOOM)	新型コロナウイルス接種説明	施設長 1名

7 設備等の修繕・工事の内容 (10万円以上の工事)

なし

8 器具及び備品・固定資産の購入内容 (10万円以上の購入代金)

購入品名	空間除菌脱臭装置 (3台)
年月日	令和3年3月31日
業者名	スワダ電器
内容	感染予防用除菌脱臭装置
金額(税込)	818,400円

令和2年度

事業実績報告書



(ボーイスカウト隊による寄贈 令和2年11月12日)

特別養護老人ホーム 市原園

Ⅲ 特別養護老人ホーム 市原園 事業実績報告書

ユニット型指定介護老人福祉施設

1 施設の運営管理について

(1) はじめに

新型コロナウイルス感染症対策として

- ① 職員通用口の変更
- ② 夜間通用口前に手洗い場を作り手指衛生の徹底
- ③ 面会の自粛(4/7～7/9)
- ④ 1Fエレベーター脇の窓を利用しビニールシート越しで面会
(7/10～面会電話予約、面会者の検温と面会時の体調など事前に伺う。面会時入居者にユニット職員が付き添う)
- ⑤ 職員給食の停止(他部署の職員と交わらないように)
- ⑥ 他ユニットの入居者・職員同士の交流を自粛
- ⑦ 短期入所者は、自室内で食事しポータブルトイレ等使用して他者利用者との交流をさけた。
- ⑧ 定例会議の中止(書面で回覧)
- ⑨ 各ユニットごとで、食事スペースの工夫(間隔を空け、対面しないように) 等



特別養護老人ホーム市原園は、令和2年度事業計画に基づき、次に掲げるような項目に力を入れて、施設の適正な運営管理に努めました。

今年度は、新型コロナウイルスの流行により、入居者に不安や外出機会の減少でストレスを感じさせてしまう状況で始まり、外部との接触を断つため、一時面会も自粛し、感染症対策強化を行いました。

・入居者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、施設サービス計画に基づき、可能な限り居室における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の生活と入居後の生活が連続したものとなるように配慮しながら介護しました。

・各ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自立的な日常生活を営むことを支援しました。

(2) 職員配置の状況

介護・看護職員は2対1の介護体制で、質の高いサービスに努めました。

施設長	事務員	職員 生活相談員	介護 支援 専門 員	機能 訓練 指導 員	看護 職員	介護 職員	栄養士	嘱託医	調理員	合計
1	1	1	1	兼	2	21(3)	1	(1)	委託	28(3)名

()は非常勤 (令和3年4月1日現在)

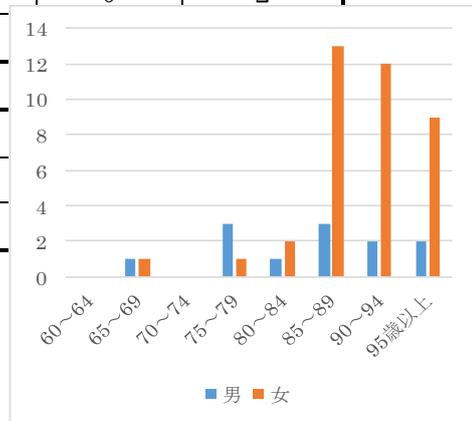
(3) 防災訓練の状況

防災関係については、昭和村消防計画書に基づき、火災や地震、放水訓練、避難救助訓練、通報連絡訓練、夜間を想定した訓練など、いろいろな災害を想定して防災避難訓練を年3回実施しました。

2 利用者処遇について

(1) 月別入退所者の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
初日	50	50	50	50	50	50
入所	0	1	2	2	0	2
退所	0	1	3	1		
	10月	11月	12月	1月		
	50	50	50	50		
	1	2	2	0		
	1	2	2	0		



(2) 年齢別入所者数(令和3年3月31日現在)

年齢区分	男	女	合計
60～64	0	0	0
65～69	1	1	2
70～74	0	0	0
75～79	3	1	4
80～84	1	2	3
85～89	3	13	16
90～94	2	12	14
95歳以上	2	9	11
合計	12名	38名	50名
平均年齢	85.2	90.0	88.9歳

(3) 日常生活の状況(令和3年3月31日現在)

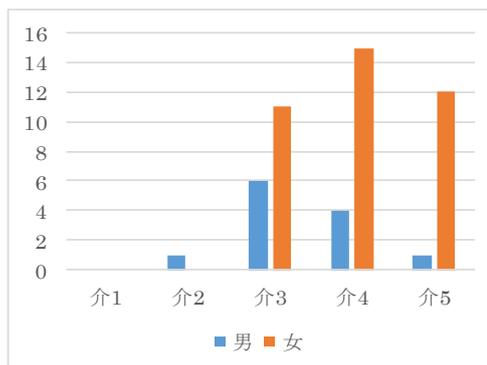
歩行	歩行(介助含む)		排泄	昼間	トイレ	自立		
	車イス自走	車イス全介助				要介助	要介助	
歩行	歩行(介助含む)		排泄	昼間	トイレ	自立	3	
	車イス自走					要介助	23	
	車イス全介助				ポータブル	自立	1	
	離床不能(短時間なら可)					要介助	1	
食事	自分で可能		排泄	夜間	トイレ	おむつ使用		23
	一部介助					自立	2	
	全部介助					要介助	10	

入浴	自分で可能	0	ポータル	自立	3
	一部介助	25		要介助	2
	全部介助	25		おむつ使用	33
着衣	自分で可能	0			
	一部介助	25			
	全部介助	25			

(4)入所者の介護度の状況

(令和2年3月31日現在)

	介1	介2	介3	介4	介5	計	平均
男	0	1	6	4	1	12	3.42
女	0	0	11	15	12	38	4.03
計	0	1	17	19	13	50	3.88



(5)施設サービス計画及びサービス内容について

介護支援専門員は、入居者について解決すべき課題を把握し、入居者の意向を踏まえた上で、介護福祉施設サービスの目標及びその達成時期、サービス内容、サービスを提供する上での留意点等を盛り込んだ施設サービス計画を作成しました。

又、必要に応じて施設サービス計画を変更すると共に、内容を入居者及びその家族に説明しました。

次にサービスの内容は、施設サービス計画に沿って、入居者に対し居室、食事、介護サービス、その他介護保険法令の定める必要な援助を提供し、入居者及びその家族に説明しました。

なお、サービスの提供にあたり、入居者又は他の入居者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束は行いませんでした。

緊急やむを得ず行なう場合においてもマニュアルに基づき、ご家族様との連携を取りながら入居者の尊厳を守ることに注意を払いました。

(6)教養娯楽について

ユニット毎に季節感のある多くの行事を取り入れて、毎日の生活に変化と彩りを与えました。誕生者には、ユニットの担当者が入居者の希望を聞きお祝いをしました。

(7)食事について

食事は、感染症対策として入居者1人1人の食べる間隔をできるだけ空けて食事の時間や雰囲気を出出来るだけ家庭に近づけるようにしました。

朝食	8:00～9:00
昼食	12:00～13:00
おやつ	15:00～

夕 食 17:30~18:30

毎月1回は行事食の日を設けて、メニューからも日常生活に変化を設けました。

(8)入浴について

檜の個浴は、介護職員がマンツーマンで入浴介助しますが、「抱え上げない介護」をテーマに、入居者の個々の身体状況に応じて、個浴型の機械浴槽、チェアインバス、臥床式特殊入浴装置を利用しました。

(9)排泄について

プライバシーの保護に配慮しながらユニット毎に随時のおむつ交換やトイレへの排泄誘導介助をしました。

又、腰痛予防対策として、スタンディングマシーンや電動リフトなどの福祉機器を積極的に導入し、有効活用しました。

(10)機能訓練について

老化の防止や残存機能の維持発展をはかるため、看護職員1名が機能訓練指導員と兼務で機能訓練を実施しました。

ユニット毎にラジオ体操や手足の上げ下げなど、軽い体操を毎日実施しました。

多くの入居者が積極的に参加し、表情も明るく前向きな姿勢が感じられました。

3 給食管理について

(1)食事について

給食の提供にあたっては、年齢、性別、生活活動強度により栄養所要量を算定し、その栄養所要量が確保されるようにしました。

毎月行われる給食会議の行う方法も、職員を集めて会議する方法ではなく、各部署の代表者がまとめた議案を栄養士が集計し、委託業者（株式会社西原屋）スタッフに確認してもらい、入居者の嗜好や摂取状況などを把握し、より良い給食が提供出来るようにしました。

又、温冷配膳車(24人用×3台)は電動アシスト機能付きで、女性スタッフでも軽々と操作可能になり各ユニットまでスムーズに適時適温給食を提供することが出来ました。

又、行事食を多く取り入れ、季節感のある献立を作成すると同時に、身体状況(咀嚼嚥下能力、健康状態など)に応じて、普通食、キザミ食、超キザミ食、ミキサー食などの調理形態を用意し、状況変化に応じて適宜変更しました。

食事以外にも水分補給の重要性から、ユニット毎にお茶の時間を設け、介護職員は全入居者の食事、水分の摂取状況を全て記録するようにしました。

食中毒の予防として、ノロウイルスや腸管出血性大腸菌 O-157 対策、衛生管理チェックリストの整備など、委託業者にも指導して毎日の点検や検便を実施しました。

(2)栄養所要量について(令和3年3月31日現在)

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂質 g	Ca mg	鉄 mg	ビタミンD μg	VitB1 mg	VitB2 mg	VitC mg
平均	1,400	52.7	42.4	750	7.5	850	1.1	1.2	100

※ハリスベネディクトにて算出。

(3)令和2年度 栄養摂取量(1人1日当たり)

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂質 g	Ca mg	鉄 mg	レチノール当 μg	VitB1 mg	VitB2 mg	VitC mg
平均	1,409	58.2	42.0	795	10.4	771	0.71	0.84	88

(4)調理形態別の食事の状況(令和3年3月31日現在)

主食	ご飯 13名	お粥 31名	粥ゼリー 6名	流動食 0名	胃ろう栄養 0名
副食	普通 11名	キザミ 9名	超キザミ 23名	ミキサー 7名	流動食 0名

4 健康管理について

(1)保健計画について

入居者の健康管理については、疾病の早期発見、早期治療のために定期健康診断や日常の健康チェックに努めました。そして、入居者の身体状況や症状に応じて、嘱託医の診察や協力病院等へ通院しました。

嘱託医と連絡調整は密に行い、入居者の症状に応じて治療の指示を得て、適切な措置を行いました。特にインフルエンザの流行時期は、嘱託医の指示により施設で検査を行い、陽性の場合には投薬、点滴治療を早目に対応しました。

又、入院治療を必要とする入居者については、嘱託医、協力病院、ご家族等と連絡を取り合いながら、入院治療を行いました。

歯科の診療については、入居者の症状に応じて歯科医院に往診を依頼し、口腔内の管理、治療、義歯の作成など行いました。

眼科、耳鼻科、整形外科、皮膚科などの診療については、家族と連絡を取り合い、時には通院の協力依頼をすることもありました。

インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症対策に対しての研修を行い、マニュアルに沿って周知徹底しました。

(2)入居者の健康診断について

市原健康クリニックにより、各居室での胸部レントゲン検査、心電図検査、血圧測定、尿検査、診察など、集団検診で実施し、疾病の早期発見に努めました。

(3)職員の健康診断について

全職員の健康診断を市原健康クリニックの移動検診車による集団検診で実施しました。

一般の職員は年1回、一般健康診断を実施しました。

直接処遇職員については年2回腰痛検査を実施すると共に、希望者は社会保険指定病院の生活習慣病予防検診を受診しました。

(4)入居者の医療機関への入退院の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入院者	2	3	4	4	2	4	5	2	1	1	1	1	34名
退院者	2	2	0	3	3	1	4	2	0	0	1	1	19名

(5)月別ベッド入居率(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月

在籍	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	
入院、外泊	48	86	85	58	54	91	
在園	1,452	1,462	1,415	1,470	1,496	1,409	
利用率	96.8	94.3	94.3	94.8	96.5	93.9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1,550	1,500	1,550	1,550	1,400	1,550	18,250人日
	96	70	42	57	54	27	768人日
	1,450	1,423	1,507	1,493	1,346	1,522	17,445人日
	93.5	94.9	97.2	96.3	96.1	98.2	95.56%

5 年間行事

4/7	新型コロナウイルス感染対策として、国が緊急事態宣言を発令。不要不急の外出自粛や昭和村管内への来客や面会も中止となる。	
5/25	緊急事態宣言解除となったが、面会については、しばらく中止。	
	春の演遊会 あやめ見学 昭和村盆踊り 敬老会・家族会 運動会 昭和村文化祭	
	上記の行事についても新型コロナウイルス感染症によりすべて中止となった。	(行事食)
9/3	入居者健康診断	
10/1	PCを利用したリモート面会が開始。 (令和3年5月末時点で延べ120回)	
12/16	クリスマス会(行事食) (別日に各ユニットごとに入居者へプレゼントを渡しています。)	(正面玄関内でリモート面会)
1/7	1都3県緊急事態宣言再発令	
3/7	緊急事態宣言解除	
3/17	各ユニット個浴槽交換工事(計3台)	
3/18	不在者投票日37名(千葉県知事選)	
		
		(クリスマス会の様子)

6 職員研修実績

(1) 内部研修

日付	研修名	内容	参加者 職種人数

R2. 9月30日	感染症発生に備えた事業継続計画	東京海上日動 西森氏	施設長他 5名
R2. 12月4日	職場のハラスメントについて	顧問弁護士 建入則久氏	施設長他 5名

(2) 外部研修

日付	研修名	内容	参加者 職種人数
R2. 7月7日	高齢者施設管理者研修	施設管理者向け研修	施設長 1名
R2. 9月28日	安全運転管理者講習	法定講習	安全運転管 理者1名
R2. 11月16日	苦情解決研修	福祉サービスにおける苦情解決の 基本視点	生活相談員 1名
R2. 11月30日	福祉避難所研修	福祉避難所開設・運営マニュアル作 成研修	施設長1名
R2. 12月15日	加茂地区社会福祉法人合同研 修	加茂地区における4法人の協力体制 について	施設長1名
R2. 12月18日	苦情解決研修	苦情解決におけるリスクマネジメ ント	施設長 1名
R3 2月18日	新型コロナウイルスワクチン 接種説明会	ZOOM アプリを使用し オンライン研修会	看護職員 1 名
R3. 3月4日	栄養（給食）職員研修	ZOOM アプリを使用したオンライン 研修会	栄養士1名
R3. 3月17日	施設介護支援専門員研修	ZOOM アプリを使用したオンライン 研修会	介護支援専 門員1名

7 設備等の修繕・工事の内容（10万円以上の工事）

修繕・工事名	ふじトイレ排水用通気弁取り付け工事
年月日	令和2年4月30日
業者名	三建設備工業所
内容	トイレ排水用通気弁取り付け交換工事
金額(税込)	187,000円
修繕・工事名	2階休憩所工事
年月日	令和3年3月30日
業者名	ひらつか工務店

内 容	2階湯上り談話スペースを仕切り職員休憩所を作る
金 額(税込)	1,010,988 円

併設型・空床型ユニット型指定短期入所生活介護

1 事業の実施状況について

「全室個室・ユニットケア」のユニット型指定短期入所生活介護(定員 10 名)の施設で、ユニット毎に家庭的な雰囲気の中で、本人の意思及び人格を尊重し、自立した日常生活が営まれるように介護しました。

入院ベッドを利用する空床型短期入所も実施していましたが、

今年度は、新型コロナウイルスの流行により、国の緊急事態宣言の影響で外部からの利用者様の利用回数の自粛を余儀なくされたため、年間平均利用率は 87.2%となりました。

短期入所生活介護利用者の健康管理については、事前情報の提供を受けるなど、担当介護支援専門員や家族等との連絡を密にし、状況、状態に応じた処置や通院介助をしました。

今年度も、特養本体施設と同様に介護職員の腰痛予防対策として「抱え上げない介護」をテーマに掲げ、介護用電動リフトやスタンディングマシーン、スライディングシートなどの介護機器、介護用品を使用しました。

2 職員配置の状況

介護・看護職員は 2 対 1 の介護体制で、質の高いサービスに努めました。

施設長	事務員	生活相談員	介護支援専門員	看護職員	介護職員	栄養士	嘱託医	調理員
1 (兼)	1 (兼)	1 (兼)	1 (兼)	1	4	1 (兼)	1 (兼)	委託

(令和 3 年 4 月 1 日現在)

3 短期入所生活介護の利用状況について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延利用者	266	224	205	287	300	282	
利用日数	81	38	145	160	114	98	
利用率	88.7	72.3	68.3	92.6	96.8	94	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	264	268	267	281	256	283	3,183名
	143	178	191	157	170	112	1,587人日
	85.2	89.3	86.1	90.6	91.4	91.3	87.2%

4 器具及び備品・固定資産の購入内容 (10 万円以上の購入物品)

修繕・工事名	個浴槽入れ替え工事 3 台
年 月 日	令和 3 年 3 月 31 日
業 者 名	スワダ電器
内 容	個浴槽各ユニット 1 台ずつ入れ替え
金 額(税込)	350,460 円

修繕・工事名	リクライニング車椅子購入
年 月 日	令和 3 年 3 月 30 日
業 者 名	(株)ユアーズメディカル
内 容	ベッドサイドへ容易に可動し、介助軽減出来る車椅子
金 額(税込)	150,000 円

令和2年度

事業実績報告書



令和2年9月1日
防災

訓練)

市原園デイサービスセンター

IV 市原園デイサービスセンター 事業実績報告書

1 事業の実施状況について

(1)はじめに

市原園デイサービスセンターは、令和2年度事業計画に基づいて運営管理に努めました。平成28年4月1日から地域密着型通所介護へと移行となった事から、年2回の運営推進会議の開催が必要となりましたが、今年度はコロナウイルス感染症対策として、文書による開催とし、運営推進委員の皆様から貴重なご意見を頂きました。そして、サービス向上に努め地域の皆様から良い評価を得られるよう努力しました。

又、地元で主催予定のアートミックスのイベントや加茂学園の運動会、学園祭等の地域交流行事にも積極的に参加する予定でしたが、コロナウイルス感染症の関係から自粛となり、地域との交流を深める事が出来ませんでした。

新型コロナウイルス感染予防対策について

- ① デイサービス専用の出入り口を夜間通用口に設け、施設入居者や他のサービス利用者との接触を避けるように工夫しました。
- ② 利用者の送迎自動車乗車前の体温測定を実施しました。
- ③ 体温測定を午前と午後一日2回実施し、健康チェックを強化しました。
- ④ 手洗い、手指アルコール消毒、食事時以外の常時マスクの着用など、徹底しました。
- ⑤ 食堂の対面配置を無くし密を避ける為、新たにテーブル8台購入しました。
- ⑥ 外出や外食などの行事を中止し、出前食の日やお楽しみ給食の日を実施しました。
- ⑦ 送迎終了時の車両のアルコール消毒など感染予防に努めながら実施しました。
- ⑧ 職員の就業前と午後の体温測定、健康チェック、行動表の記録などを実施しました。
- ⑨ 職員の勤務体制を2交代制とし、昼食時間も分けるように実施しました。
- ⑩ PCR検査実施 3月(職員)

このように、今年度は出来る限りのコロナウイルス感染予防対策に努めて、通所介護サービスの実施を継続しました。

(2)職員配置の状況

管理者	生活相談員	看護職員	介護職員	機能訓練指導員	合計
1	1	(2)	(3)	(2)兼務	2(5)名

()は非常勤 (令和3年4月1日現在)

(3)サービスの提供について

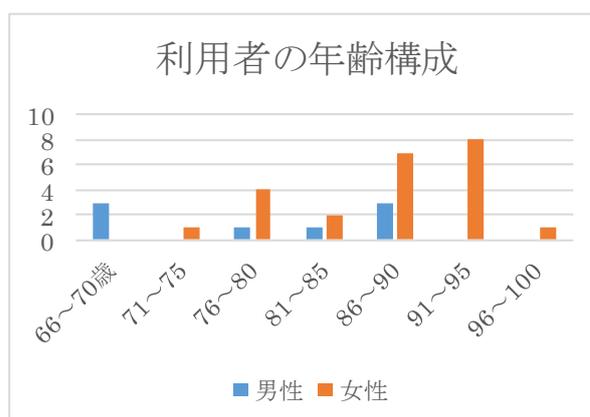
サービスの提供に当たっては、通所介護計画に基づき利用者の有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活上のお世話及び機能訓練などを行いました。

利用者の状況は、69～96歳と年齢差も大きいので、無理なく安全にサービスの提供が出来るように、個別の通所介護計画や機能訓練の見直し等を行い、個別介護に努めました。

又、利用者の社会的孤立感の解消や心身の機能の維持、そして利用者の家族の方々の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

【利用者の年齢構成】

	男性	女性	計	前年比
66～70歳	3	0	3	+2
71～75歳	0	1	1	-1
76～80歳	1	4	5	+1
81～85歳	1	2	3	-2
86～90歳	3	7	10	-3
91～95歳	0	8	8	-3
96～100歳	0	1	1	+1
合計	8	23	31名	-5名
平均年齢	79.8	87.3	83.6	-1歳



(令和3年3月31日現在)

(4)行事、レクリエーション等について

行事、レクリエーション等については、お花見、紅葉狩り、クリスマス会、ガーデニングやクッキング教室、そして、今年はコロナウイルス感染予防の為家族の参加は出来ませんでした。職員、利用者のみで敬老会を実施しました。

今年2回目の絵手紙教室は、皆さん思い思いに作品を書き上げ、家族の方などに送ることが出来ました。

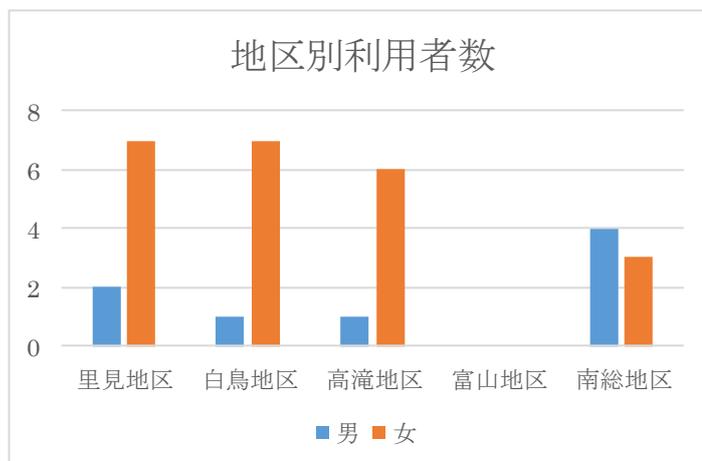
毎月1回の誕生会の豪華な行事食や防災訓練は、例年通り実施出来ましたが、今年度はコロナウイルス感染予防の為、施設の入居者の方々との交流は一切できませんでした。

3月末には、今年度の反省会を一週間掛けて実施し、その方に合った賞状や一年間分の作品等のプレゼントお渡ししました。

・主な行事

4月	「デイサービス便り」発行 お花見(高滝ダム、木更津、君津、溪谷方面) 菜の花ドライブ 前庭で運動会 ガーデニング(じゃがいも植え) 選択レク		(お花見ドライブ)
5月	端午の節句 菖蒲湯 高滝ダム湖畔散歩(バラ園見学) 母の日プレゼント作り ガーデニング 選択レク		(バラ見学)

	男	女	計	前年比
里見地区	2	7	9	-1
白鳥地区	1	7	8	-3
高滝地区	1	6	7	0
富山地区	0	0	0	-2
南総地区	4	3	7	+1
合 計	8	23	31名	-5名



3月	ひな祭りの会、音楽体操、選択レク、 ドライブ、 デイ防災訓練 苺パフェ お花見ドライブ（加茂地区・君津地区） お楽しみ茶話会（今年度反省会）	(ひな祭りの会)	
----	---	----------	--

2 利用の状況について

(1) 地区別利用者数(令和3年3月31日現在)

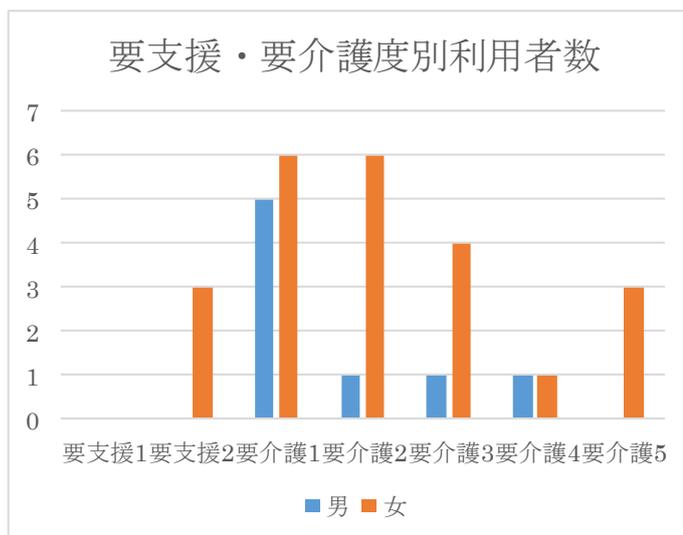
(2) 要支援・要介護度別利用者数(令和3年3月31日現在)

(平均要介護度 2.1)

(3) 利用者の週当の利用状況(令和3年3月31日現在)

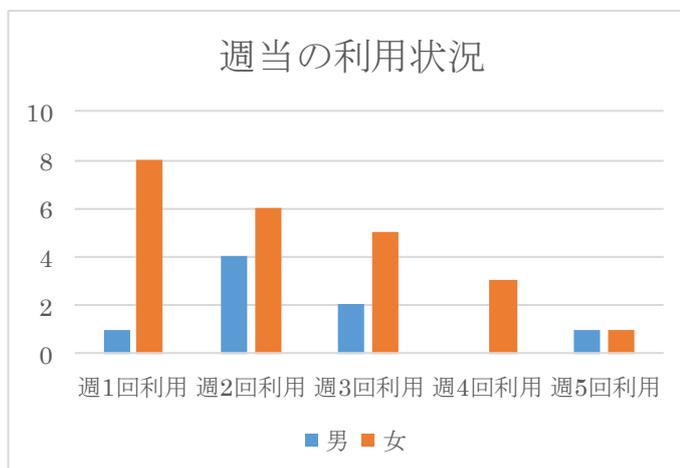
	男	女	合計
週1回利用	1	8	9
週2回利用	4	6	10
週3回利用	2	5	7
週4回利用	0	3	3
週5回利用	1	1	2
合計	8	23	31名

	男	女	計	前年比
要支援1	0	0	0	0
要支援2	0	3	3	+1
要介護1	5	6	11	-2
要介護2	1	6	7	-3
要介護3	1	4	5	-3
要介護4	1	1	2	0
要介護5	0	3	3	+2
合計	8	23	31名	-5名



(4) 月別利用者数

年間定員 3,600 名の所 3,448 名の実績で、96.1%の年間利用率でした。



	営業 日数	1日平均 利用者数	1月の延べ 要支援者数	1月の延べ 要介護者数	1月の延べ 合計利用者数	利用率
4月	21	14.0	5	290	295	98.3%
5月	21	13.4	3	278	281	93.6%
6月	21	13.8	8	281	289	96.3%
7月	21	13.4	8	274	282	94.0%
8月	21	13.4	12	269	281	93.7%
9月	19	14.2	10	289	299	99.7%
10月	21	14.1	11	286	297	99.0%
11月	21	13.9	11	281	292	97.3%
12月	20	14.5	12	265	277	92.3%
1月	20	14.5	11	278	289	96.3%
2月	20	14.0	8	271	279	93.0%
3月	21	13.7	11	276	287	95.7%
年間合計		166.9	110	3338	3448	年間利用率
月の平均		13.9	9.2	278	287.3	96.1%

3 職員研修実績

(1) 内部研修

日付	研 修 内 容	講 師	参加者職種	参加人数
R2.12/4	職場のハラスメントについて	顧問弁護士 建入 則久 氏	管理者 生活相談員	2名

(2) 外部研修

日付	研 修 名	内 容	参加者職種人数

※新型コロナウイルス対策の為、研修がほとんど中止となった。

4 設備等の修繕・工事の内容 (10万円以上の工事)

修繕・工事名	個浴槽入替工事 2台
年 月 日	令和3年3月31日
業 者 名	スワダ電器
内 容	老朽化した個浴槽2台の入替工事
金額(税込)	357,280円

令和2年度

事業実績報告書



市原園在宅介護支援センター

V 市原園在宅介護支援センター 事業実績報告書

指定訪問介護

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症対策として

- ① 新規利用者の受け入れを緊急事態宣言中は自粛。
- ② ヘルパー活動に入る前と終了後の手指消毒や公用車や自家用車内の消毒の徹底
- ③ 市原園個浴利用の自粛

市原園在宅介護支援センターの訪問介護事業は、12名の訪問介護員が、24時間、365日、利用者から要望があればいつでも活動が出来るように体制を整備し対応しました。

活動内容は、居宅を訪問して入浴・排泄・食事等の介護及び援助、家事・炊事等の日常生活支援でした。

平成30年4月からは介護予防訪問介護サービスがなくなり、市原市と大多喜町での日常生活支援総合事業の申請登録を行い、サービスを提供しています。

令和2年度の活動回数の実績は、月平均793回で、令和元年度と比較すると月平均64回程減少しました。

2 職員の状況

管理者	サービス提供責任者 兼 訪問介護員	非定型的パートタイム ヘルパー	合 計
1 兼務	2	(10)	3(10)名

()は非常勤 (令和3年4月1日現在)

3 訪問活動延数

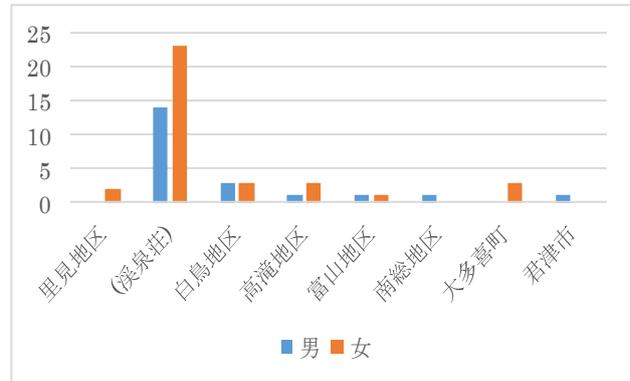
月	身1	身2	身3	身1生1	身1生2	生2	生3	訪問型 1	訪問型 2	訪問型 3	計 (回)
4	181	194	15	21	3	65	330	14	19	0	842
5	181	193	17	20	2	83	286	18	17	0	817
6	147	221	18	21	0	82	300	12	17	0	818
7	151	236	18	22	1	85	297	18	19	0	847
8	174	231	17	19	1	84	280	13	17	0	836
9	158	217	17	22	1	82	285	16	17	0	815
10	150	199	17	27	1	86	266	21	27	0	794
11	144	192	21	31	11	80	241	22	25	0	767
12	130	205	18	37	17	83	257	12	21	0	780

1	123	202	17	39	19	82	233	12	16	0	743
2	106	175	20	35	19	76	216	26	24	0	697
3	118	191	22	37	21	85	236	26	18	0	754
計	1,763	2,456	217	331	96	973	3,227	210	237	0	9,510

(前年比-776回)

4 地区別利用者の状況(令和3年3月現在)

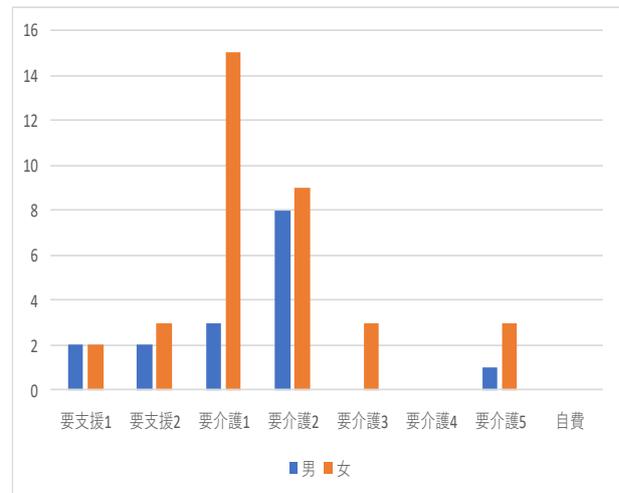
	男	女	計	前年比
里見地区 (溪泉荘)	14 (14)	25 (23)	39 (37)	-5 0
白鳥地区	3	3	6	-1
高滝地区	1	3	4	-1
富山地区	1	1	2	1
南総地区	1	0	1	-2
大多喜町	0	3	3	-1
君津市	1	0	1	-1
合計	21	35	56名	-5



5 要支援・要介護度別利用者の状況

(令和3年3月現在)

	男	女	計	前年比
要支援1	2	2	4	0
要支援2	2	3	5	1
要介護1	8	15	23	5
要介護2	8	9	17	-6
要介護3	0	3	3	-1
要介護4	0	0	0	-1
要介護5	1	3	4	2
自費	0	0	0	-5
合計	21	35	56名	-5



6 職員研修実績

(1) 内部研修

日付	研修名	内容	参加者 職種人数
R2. 9月30日	感染症発生に備えた事業継続計画	東京海上日動 西森氏	施設長他5名
R2. 12月4日	職場のハラスメントについて	顧問弁護士 建入則久氏	施設長他5名

(2) 外部研修

新型コロナウイルス流行の為、千葉県社会福祉協議会、県・市主催の研修はほとんどありませんでした。

7 器具及び備品・固定資産の購入内容(10万円以上の購入物品)

購入名	個浴槽入れ替え工事
年月日	令和3年3月31日
業者名	スワダ電器
内容	個浴槽交換工事
金額(税込)	175,230円

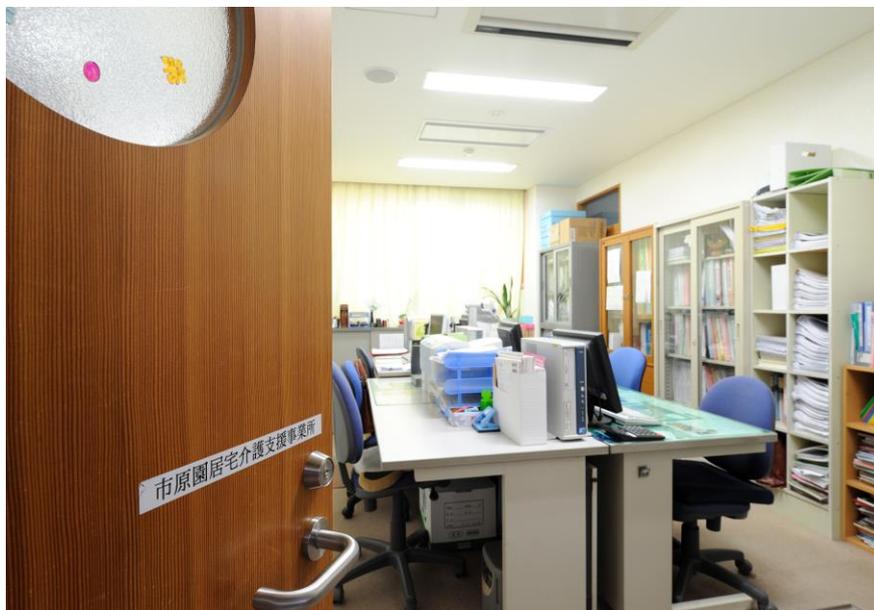
購入名	リクライニング車椅子購入
年月日	令和3年3月30日
業者名	(株)ユアーズメディカル
内容	ベッドサイドへ容易に可動し、介護軽減出来る車椅子
金額(税込)	150,000円

7 設備等の修繕・工事の内容(10万円以上の工事)

該当修繕・工事なし

令和 2 年度

事業実績報告書



市原園居宅介護支援事業所

VI 市原園居宅介護支援事業所 事業実績報告書

指定居宅介護支援

1 はじめに

介護支援専門員が、要介護者等に対し介護（予防）サービス計画の作成を行いました。在宅介護を希望される本人や、家族の心身状況や置かれている環境に応じて、多様な事業者から選択により総合的かつ効果的に提供されるように配慮し主治医と連携を取り、きめ細かくサービスが提供できるようサービス計画を作成しました。

また、事業運営にあたっては、市町村、地域包括支援センター、病院、他の指定居宅介護支援事業者と密に連携をとり、情報交換を行いながら推し進めることができました。

- ・ 多様に変化する介護保険制度を円滑に実施するため常に、職員の資質向上に努め研修会、検討会等にも積極的に参加しました。
- ・ 特定事業所加算に係る基準を遵守し、特定事業所加算Ⅱの算定を受け利用者一人当たり4,000円の加算を受けることができました。
- ・ 市原市や他市町村から委託を受け、介護認定調査を実施しましたが令和2年度は5月から8月まで新型コロナ感染対策として認定調査は行われず年間62件の実績でした。

新型コロナウイルス感染予防対策としては

- ① 常時マスクを着用し消毒液を持参し訪問時、通常のモニタリングであれば玄関先で距離を取り会話するようにしました。
- ② サービス担当者会議の開催は問題がなければ電話や文書でやり取りをしました。
- ③ 他法人との共同事例検討会では年2回、文書でやり取りをしました。

2 職員の状況

管理者 兼 主任介護支援専門員	主任介護支援専門員	介護支援専門員	合計
1名	1名	2名	4名

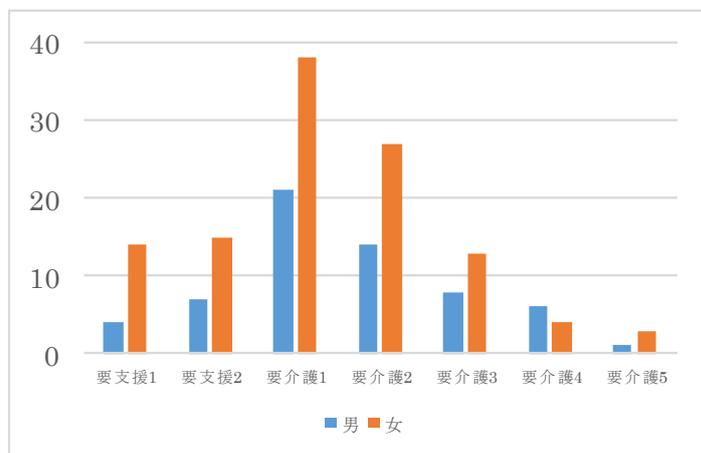
(令和3年3月31日現在)

3 ケアプラン作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	133	131	135	140	141	140	142	136	144	143	134	136	1,655件
支援	42	42	40	42	42	37	39	38	38	38	41	43	482件

4 地区別利用者の状況(令和3年3月現在)

	男	女	計	前年比
里見地区 (溪泉荘)	25 (17)	51 (27)	76 (44)	-3 (4)
南総地区	11	21	32	4
白鳥地区	8	25	33	4
高滝地区	8	10	18	0
富山地区	4	1	5	4
大多喜町	3	14	17	8
君津市	0	0	0	0
その他	1	2	3	0

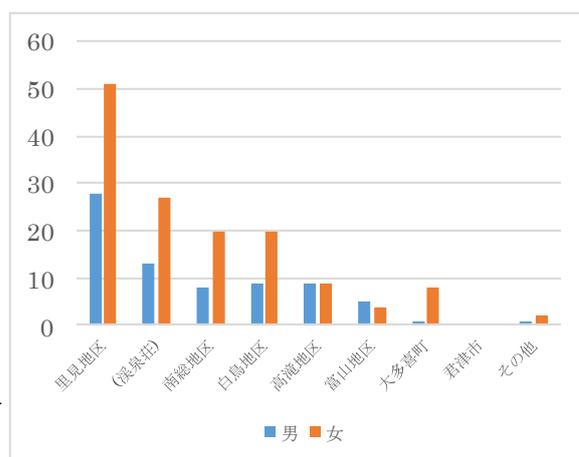


5 要支援・要介護度別利用者の状況(令和3年3月現在)

	男	女	計	前年比
要支援1	4	21	25	7
要支援2	5	16	21	-1
要介護1	27	38	65	6
要介護2	14	25	39	-2
要介護3	5	13	18	-3
要介護4	4	6	10	0
要介護5	1	5	6	2
合計	60	124	184名	9名

6 各事業所にサービス提供を依頼した件数(介護・支援含む、重複あり)(令和3年3月分)

サービス提供の内容	件数	サービス提供の内容	件数
ヘルパーの利用	67	福祉用具(ベッド)の貸与	35
短期入所生活介護の利用	22	〃 付属品	35
デイサービスの利用	76	福祉用具(床ずれ防止マット)の貸与	4
デイケアの利用	27	福祉用具(車イス)の貸与	20



訪問看護の利用	15	福祉用具(歩行器)の貸与	40
訪問入浴の利用	5	福祉用具(手すり)の貸与	39

7 職員研修実績

(1) 内部研修

日付	研修内容	講師	参加者職種	参加人数
R2. 12月4日	職場のハラスメントについて	顧問弁護士 建入 則久氏	施設長	1名

(2) 外部研修

日付	研修名	内容	参加人数
R2年 6月23日	グリーンケアフォーラム (オンライン)	令和2年度実施指導、監査対策と令和 3年度介護保険改正について	1名
R2年 6月29日	ケアマネジャー交流 (ズームによるリモート)	困難事例検討	1名
R2年 9月12日	介護支援専門員協議会93回研修会	千葉県介護支援専門員協議会	1名
R2年 9月27日	介護支援専門員協議会93回研修会	千葉県介護支援専門員協議会	1名
R2年 10月13日	認知症日常サポート ガイドVR体験会	バーチャルリアルティゴーグルを装 着し体験	1名
R2年 10月14日	認知症日常サポート ガイドVR体験会	バーチャルリアルティゴーグルを装 着し体験	1名
R2年 11月16日	千葉県運営適正化委員会	福祉サービスにおける苦情解決の基 本視点	1名
R2年 12月14日	千葉県運営適正化委員会	福祉サービスにおける苦情解決の基 本視点	1名
R3年 1月18日	千葉県運営適正化委員会	苦情解決能力向上に向けたコミュニケ ーションスキルのポイント	1名
R3年 1月29日	令和2年度ケアマネジャー研修会	リーダーシップとケアマネジメント ～管理の仕方間違っていないか～	1名
R3年 2月19日	令和2年度 介護支援専門員研修 会 WEB 開催	地域ケア会議における介護支援専門 員の関わり方を学ぶ	1名
R3年 2月20日	介護支援専門員協議会第94回研修 会	支援システム構築にケアマネジャー はどう関わって行くのか?	1名
R3年 1/29 ～ 2/12	令和2年度認定調査員研修	WEBで動画を拝聴	4名

R3年 3月17日	令和2年度居宅介護支援専門員現 任研修	居宅介護サービスの介護報酬改定に ついて	1名
--------------	------------------------	-------------------------	----

8 設備等の修繕・工事の内容 (10万円以上の工事)
修繕・工事 該当なし

令和 2 年度

事業実績報告書



昭和村売電事業

Ⅶ 昭和村売電事業 事業実績報告書

1 はじめに

社会福祉法人昭和村は、平成 29 年度から空調設備や給湯設備の更新、照明器具の LED 化など、施設の省エネルギー対策に取り組んで来ました。

そして、平成 30 年度は施設の屋根を有効活用し、収益事業として太陽光発電による売電事業を立ち上げ、安定した社会福祉事業の経営を目指しました。

2 事業内容

設計・監理業者 株式会社ウエストエネルギーソリューション
東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル 31 階
設置場所 軽費老人ホーム溪泉荘 A・B棟屋根
売電開始日 平成 30 年 10 月 5 日

3 売電実績

年 月	発 電 量 (エコめがね)	売電金額 (収入額)	予測量との 対比
令和 2 年 4 月	8,738.0 kWh	209,718 円	+ 25.0%
令和 2 年 5 月	8,248.3 kWh	197,958 円	+ 15.0%
令和 2 年 6 月	7,033.3 kWh	168,798 円	+ 30.1%
令和 2 年 7 月	5,567.2 kWh	133,613 円	- 19.0%
令和 2 年 8 月	9,982.2 kWh	239,573 円	+ 40.2%
令和 2 年 9 月	5,517.3 kWh	132,414 円	- 1.5%
令和 2 年 10 月	4,461.4 kWh	107,074 円	- 6.9%
令和 2 年 11 月	4,490.4 kWh	95,448 円	+ 13.0%
令和 2 年 12 月	3,682.7 kWh	88,358 円	- 6.8%
令和 3 年 1 月	4,576.5 kWh	109,834 円	+ 10.0%
令和 3 年 2 月	6,540.2 kWh	156,963 円	+ 33.3%
令和 3 年 3 月	7,102.9 kWh	170,469 円	+ 15.9%
合 計	75,940.4 kWh	1,810,220 円	平均 12.4%

4 借入金の返済状況

借 入 先	京葉銀行 五井支店
借 入 額	14,500,000 円
借 入 年 度	平成 30 年度
完 済 年 度	令和 15 年度
令和 2 年度 償還額元金	960,000 円
利子	126,230 円
令和 2 年度末 償還残額	12,180,000 円

5 設備等の修繕・工事の内容 (10 万円以上の工事) なし